

各教科の一単位時間の配慮点

	指 導 の 配 慮 点 (授業規律・発問・板書・個別指導・ノート指導等)	評 価 の 観 点			
		関心・意欲・態度を向上させるための手だて	発想と構想の能力を向上させるための手だて	創造的な技能を向上させるための手だて	鑑賞の能力を向上させるための手だて
導 入	<p>(授業規律)</p> <ul style="list-style-type: none"> 早めに美術室で生徒を待ち、チャイム授業の習慣を身に付ける指導をする。 <p>(発問)</p> <ul style="list-style-type: none"> 前回の内容と流れを確認し、本時の授業の展開を明確にし、見通しをもって制作できるようにする。(前回欠席した生徒への配慮も兼ねる。) <p>(板書)</p> <ul style="list-style-type: none"> 本時の目標、制作手順、注意事項等を示し、課題を明確にする。 	<ul style="list-style-type: none"> 前回の振り返り、課題・改善点を明確にし、目的をもって制作をおこなえる環境づくりをする。 	<ul style="list-style-type: none"> 参考作品や資料等を積極的に提示し、発想を刺激する。 	<ul style="list-style-type: none"> 板書をわかりやすくし、制作手順を明確にする。 	<ul style="list-style-type: none"> 参考作品や資料等を多数用意し、生徒の思いを引き出しやすい環境を整える。
展 開	<p>(安全指導)</p> <ul style="list-style-type: none"> 用具の安全で正しい使い方を具体的に示す。 制作前に安全確認を必ず行い、制作中も常に危険のないように留意する。 <p>(指導技術)</p> <ul style="list-style-type: none"> 机間指導において、すべての生徒に声をかけられるよう時間配分に留意する。 <p>(個別指導)</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒個々の進度や能力、理解力に応じた指導を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 常に活動の目的を明確にし、制作に取り組ませる。 生徒個々のよさを認め、自信をもたせ、的確な助言する。 	<ul style="list-style-type: none"> 板書で、図解し表現内容の具体例を示す。 参考作品を提示し、仕上がりのイメージを明確にする。 個性的な発想を大切にし、自信をもたせ、より具体的な構想を練れるよう援助する。 	<ul style="list-style-type: none"> 板書で、具体的な表現方法を明示、同時にお手本を見せる機会を多くもつける。 机間指導を徹底し、生徒個々に応じた助言をする。 用具の安全で有効な使い方ができているか確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 参考作品や資料等を適切に掲示する。 対話を多くし、生徒自身が気づいたことを尊重した学習内容にする。
ま と め	<p>(授業構成)</p> <ul style="list-style-type: none"> 終了5分前に予告をして用具の片付けを促す。 終了時に本時の課題に対する成果と次回の準備等を確認する。 <p>(板書)</p> <ul style="list-style-type: none"> 次回の日付と持ち物等を伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時の目標、課題に向き合って取り組んだ生徒作品を紹介する。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時に発見した表現上の優れた点を全体に紹介し、解説する。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時に発見した表現上の優れた点を全体に紹介し、解説する。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート等で内容や感想をまとめ、学習内容を確認する。